

# 第 164 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 4 年 6 月 2 日（木）15:30～16:00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

### 1 参加者

玉城 知事、照屋 副知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、森田 総務統括監、儀間 企画部長、多良間 環境企画統括監、宮平 子ども生活福祉部長、糸数 保健医療部長、崎原 農林水産部長、松永 商工労働部長、宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、半嶺 教育庁、我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、平良 警備第二課次席 宮里 感染対策統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

### 2 報告事項

(1) 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標等の状況について

➤ 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。

✓ 6/2 の新規発生は 1,373 名となっている。改善された指標としては、人口 10 万人あたりの新規陽性者数、新規 PCR 検査の陽性率、前週比で、一方、病床使用率は 40% 半ばで、資料には掲載されていないが本島のみでは 50% を超えている。また、入院者数もようやく 300 名を切ったところで、感染者数のピークは過ぎたがまだ医療ひっ迫は続いている。

(2) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-10】

➤ 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。

- ✓ 非コロナ病床については、6/2 の総合計は 94.5%となっており、特に本島では 95.0%と中南部では高い利用率で医療のひっ迫が続いている。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は沖縄県が全国 1 位、2 位が鹿児島県、3 位が宮崎県と続いており、沖縄、九州、北陸で感染拡大が続いている。都市部では比較的感染が抑えられている状況。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限(休業)状況を見ると、6/1 で 444 名が休業している状況で、看護師が 223 名と半数以上を占めている。
- ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の分析によると、沖縄本島の実効再生産数については 0.80 となっており、全県的に陽性者数は減少傾向にある。
- ✓ 今後の見通しと対策として、今週の新規陽性者数は 7,000-10,000 人となり、今週末までに入院患者数は 350-400 人に至り、重症者数は 3 人前後と見込まれる。
- ✓ 夏休み以降には、ふたたび感染拡大する可能性があり、個別に基本的な感染対策を心がけ、高齢者へのワクチン接種を推進することで、夏への備えが必要。

### (3) ワクチンの接種状況について【資料 9】

#### ➤ 総括情報部より報告。

- ✓ 5/31 時点での接種実績として、1 回目 71.5%、2 回目 70.7%、3 回目 43.8% が接種済みとなっており、3 回目の接種は高齢者の 83.2%が接種済みとなっている。
- ✓ 県広域接種センターで、6 月 4、5 日にイーアス沖縄豊崎臨時会場、6 月 18 日に読谷村地域振興センターでそれぞれ臨時会場での接種を予定している。
- ✓ 3 回目接種における対象者及び接種実績を年代別に乘せた表によると、令和 4 年 5 月の 60 歳以上の対象者数は 3,812 名、接種実績は 9,347 回、接種率は 245.20%となっている。5 月以前の対象者数も今月接種しているため、接種率

が100%を超えている。右の赤字の項目が累計となっている。

- ✓ 県広域ワクチン接種センターでは、令和4年4月以降、1企業（10名）、4大学（97名）、4専門学校（108名）で、先週から48名増となっている。
- ✓ 市町村接種会場では、宜野湾の1大学で20名が接種している。

#### （4） 県立病院の状況について

##### ➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 6/1時点の県立病院の入院患者数は全体で86名となっており、5/24報告（101名）より15名減、5/18報告（92名）より6名減で、傾向としては90人台から80人台にやや減少している。沖縄県の入院患者数399人の21.6%を占め、県立病床が現在確保しているコロナ病床の稼働率は43.9%となっている。
- ✓ 県立病院の入院者数の内訳としては、北部病院21名、中部病院37名、南部医療センター8名、宮古病院6名、八重山病院9名、精和病院5名の計86名で、非コロナ病床稼働率は90%前後となっている。
- ✓ 中部病院で2つの病棟で発生したクラスターの感染者数は、5月26日時点で、入院患者23人、職員17人、計40人となり、そのうち入院患者1人が死亡している。その後新たな陽性者は確認されず6月1日時点で累計感染者数に変化はない。救急は相変わらず大変で一般病床の確保に難渋している。周産期の患者も多く、全体的に落ち着いたという感じではない。
- ✓ 南部医療センターでは、職員不足のため5月25日から1病棟を閉鎖していたが、今週になって復職看護師の増加や応援看護師派遣の継続も得られたので来週にはBCPを解除し、通常運転に戻す予定。
- ✓ 宮古病院では、就業制限は25人で看護師の休業は漸減している。島内では感染も減少し、診療制限を6月7日以降、通常診療に戻す予定。
- ✓ 八重山地域の新規感染者数は減少傾向である。入院患者は中等症2人、軽症7

人。医療スタッフの休業は、医師 2 人(麻酔科、総合診療科)を含む合計 10 人である。

- ✓ 精和病院では、就業制限職員は 7 人で一時に比べ減少している。通常診療、救急医療は支障無く行えている。
- ✓ 県立病院における休業職員は、5 月 24 日時点で 206 人であったが、6 月 1 日時点では 140 人と減少している。

#### (5) 宮古・八重山地域の感染状況について

##### ➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 宮古では週当たり 400 人余りとなっており、前週より 0.54 倍ということから、下げ止まっていたところからいきなりどんと減った。
- ✓ 年齢別に見るとやはり 10 歳未満が 25%で最も多く、10 代が 17%と 7 ポイントほど増加している。60 歳以上が 15%で最大値 20%から 5 ポイント減少している。
- ✓ 職業別については最近保育士が目立つ印象。
- ✓ 新たな患者は減っているが、10 代が増加しており、中体連などの影響が出てこなければいいがと思っている。
- ✓ 施設での感染について、今週は 12 件ある。先々週は 21 件、先週は 18 件だったため減少傾向にある。
- ✓ クラスターについては、疑いの施設が 4 施設あるが把握している 4 施設とも終息傾向。
- ✓ 宮古保健所の体制は市から 1 名、出先から 6 名。感染者数が減少してきているので、応援人数を減らしつつ臨機応変に対応していきたい。

##### ➤ 八重山地方本部から八重山地域の感染状況について報告。

- ✓ 5/26の週の感染者は232名で前週比0.63倍と前週の0.99倍に続いて減少傾向で、1日当たりの陽性者数は34、5名となっている。
- ✓ 年齢別に見ると10歳未満が28%を占めている。続いて40代、10代の割合が増えてきており、10代と10歳未満で全体の45%を占めている。ただし、65歳以上では5.2%となっており、前週の12.8%に比べるとかなり下がってきている。
- ✓ 小規模離島での療養状況については、竹富町で西表、小浜、波照間で合計7名療養中。与那国町では10名と、直近一週間では毎日陽性者が出ている。
- ✓ クラスタについてはほぼ落ち着いている。合計53名（入所者44名、職員9名）で、5/22以降新規陽性者は確認されていない。
- ✓ 療養中は200名、施設指定は2人でその他は解除となっている。通所施設においては、与那国でも感染が確認されており、注視が必要。
- ✓ 保健所の体制については、感染者が減少しているため、出先機関からの動員を解除している。
- ✓ 電子申請での健康観察は陽性者の40%程度は対応できており、自宅療養者のHER-SYSへの登録も半数以上ができており、より業務の効率化を進めていきたい。

(6) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの運用状況等について【資料10】

- 文化観光スポーツ部から、空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの状況について報告。
- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、5/23の週の受検者は2,884名で、前週比-150名。内訳は、県内在住者2,701名、県外在住者183名、陽性者は83で、陽性率は2.9%。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、受検者は353名で、うち県内在住者262名、県外

在住者 91 名、抗原検査陽性は 3 名であった。陽性者は迅速 PCR 検査での陽性者となっている。

- ✓ TACO について、5/23 の週の電話対応件数は 21 件で、うち健康相談・問診実施数は 7 件となっている。
- ✓ RICCA について、5/27 時点の登録者数は 150,423 名となっている。(前週より+249) 登録施設等は 19,176 件。(前週より+26)

#### (7) 報告事項についての意見等について

- ✓ 新たなワクチンとして承認されたノババックスワクチンについて、これまでのワクチンよりも副反応が少ないと厚労省のページにも載っており、これまで副反応を心配している方たちにも安心して受けてもらえるよう確保と提供をぜひ検討していただきたい。

→ノババックスのワクチンについては、現在市町村で接種が開始されており、県としても一か所拠点設けることとしている。アストラゼネカ同様県の広域接種センターを拠点とする方向で調整を始めており、接種できるよう体制を構築したいと考えている。

### 3 その他

- 総括情報部より、その他の報告事項について説明があった。
  - ✓ 沖縄県の 10 代、20 代のワクチン接種率は、1・2 回目は 60% 台、3 回目は 10% 台であり、今後の感染拡大、医療ひっ迫、重症化予防等のためにも、ワクチン接種を呼びかける必要があるため、知事による若者世代への接種呼びかけについて、45 秒程度の動画を作成し、SNS (Twitter や RICCA 等) 及び県 HP 等に掲載する。
  - ✓ 6 月 4 日、5 日にイーアス沖縄豊崎で、3 回目のワクチン接種を対象とした、

出かけ先での接種会場第3弾として呼びかけを行っている。

- ✓ 県広域ワクチン接種センターについて、3か所設けており、若い人が接種しやすいよう時間を設定している。
- ✓ 読谷村に接種会場を設けることを計画しており、6月18日(土)14:00~19:00に、読谷村地域振興センター1階 ふれあいホールにて3回目接種対象者にたいし、接種を行う。ここで接種できない方に対しては、市町村の接種会場を案内することも含めて周知していく。
- ✓ 医療のひっ迫に伴う救急医療の適正受診の広報について、引き続き県民に対して呼びかけていく。これまでも救急医療の適正な受診について呼びかけを行っており、6月9日のコロナ拡大警報まで引き続き、呼びかけていきたい。
- ✓ 診療制限等状況として、5月25日時点で県立病院(5病院)、琉球大学病院、那覇市立病院の7病院のうち、救急が2か所、一般診療が3か所制限をした上で診療を行っている状況であることを周知していく。

閉 会